

北部方面音楽隊と市内吹奏楽団体が迫力ある合同演奏



9月29日、芦別120周年・市制施行60周年記念事業として、「陸上自衛隊北部方面音楽隊・市内吹奏楽団ジョイントコンサート」が市民会館で開催されました。

コンサートでは北部方面音楽隊のほか、芦別小学校スクールバンド、芦別中学校吹奏楽部、芦別高

校吹奏楽局、芦別市民吹奏楽団が出演。それぞれが得意のレパートリーを演奏したほか、各団体のメンバーが勢ぞろいしての合同演奏が披露され、会場に詰め掛けた市民の皆さんは、迫力ある吹奏楽の演奏を楽しんでいました。

芦別の新たな特産品 どぶろく「あしべつだけ」を発売

芦別市内の農業者や商業者などでつくる芦別食農産業推進協議会が、芦別の新たな特産品として、どぶろく「あしべつだけ」を開発し、10月3日、芦別商工会議所で発表・試飲会が開催されました。

どぶろく「あしべつだけ」は、芦別産のもち米とイルムケップ山の伏流水を原料に、小樽市内の醸造会社

に生産を依頼。ラベルの絵と文字は市内在住の洋画家・石岡剛さんによるものです。

関係者が参加した試飲会では、「ソーダ水割りなどいろいろな飲み方ができ、女性にも好まれそう」などの感想が聞かれました。

500ミリ瓶入り1,300円。市内酒店などで販売しています。



大規模地震発生を想定して芦別市防災訓練が行われる



10月4日、大規模地震の発生を想定しての芦別市防災訓練が、なまこ山総合運動公園で行われました。

訓練では、災害情報の迅速で正確な収集とともに、家屋損壊や土砂災害などによって避難する市民の皆さんを総合避難所である市総合体育館に避難移送することから始められ、

あわせて炊き出し、配食訓練などが行われました。

また、陸上自衛隊の車両や国土交通省の災害車両、北海道防災ヘリも出動して、救出・消火、水防など大掛かりな訓練が行われ、参加した市民の皆さんは、防災に対する心がまえの大切さを認識した様子でした。

世界を目指して、全日本女子バレーチームが4年ぶり芦別合宿

全日本女子バレーボールチーム「火の鳥NIPPON」の芦別合宿が10月11日から15日まで、総合体育館などで行われました。

同チームが芦別合宿を行うのは、平成21年以来4年ぶり、真鍋政義監督率いる木村沙織主将ら選手14人とコーチらが参加しました。

今回の合宿は、11月12日から名古屋

市などで開催されるワールドグランドチャンピオンズカップに向けての調整で、その後は既に出場権を得ている来年イタリアで開催される世界選手権、更には3年後のリオデジャネイロ五輪を目指します。12日と13日の総合体育館での練習が公開され、熱心なバレーボールファン約500人が詰め掛け、練習を見守りました。

